

## ご 注 意

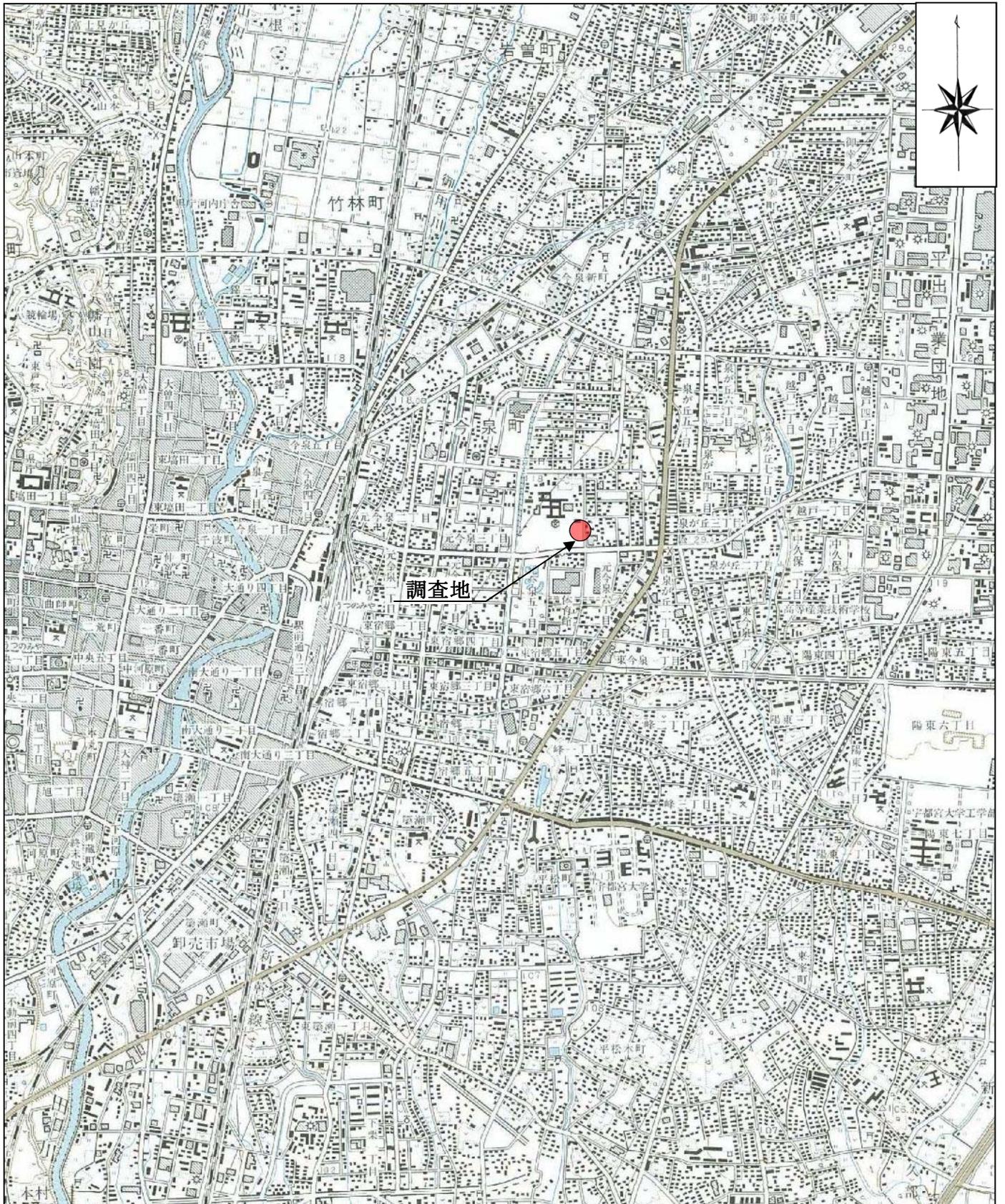
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

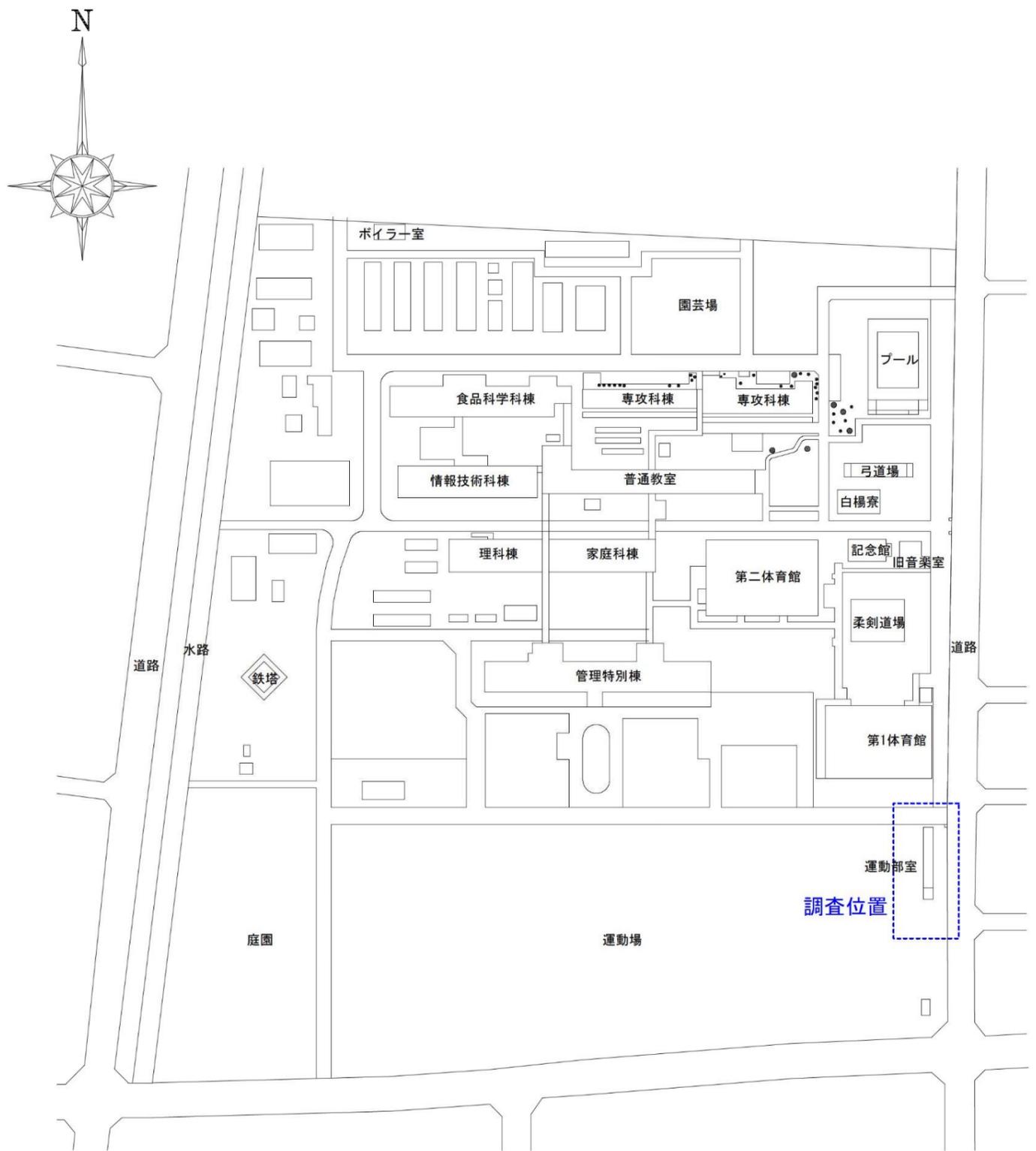
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

### 1.2 調査位置図

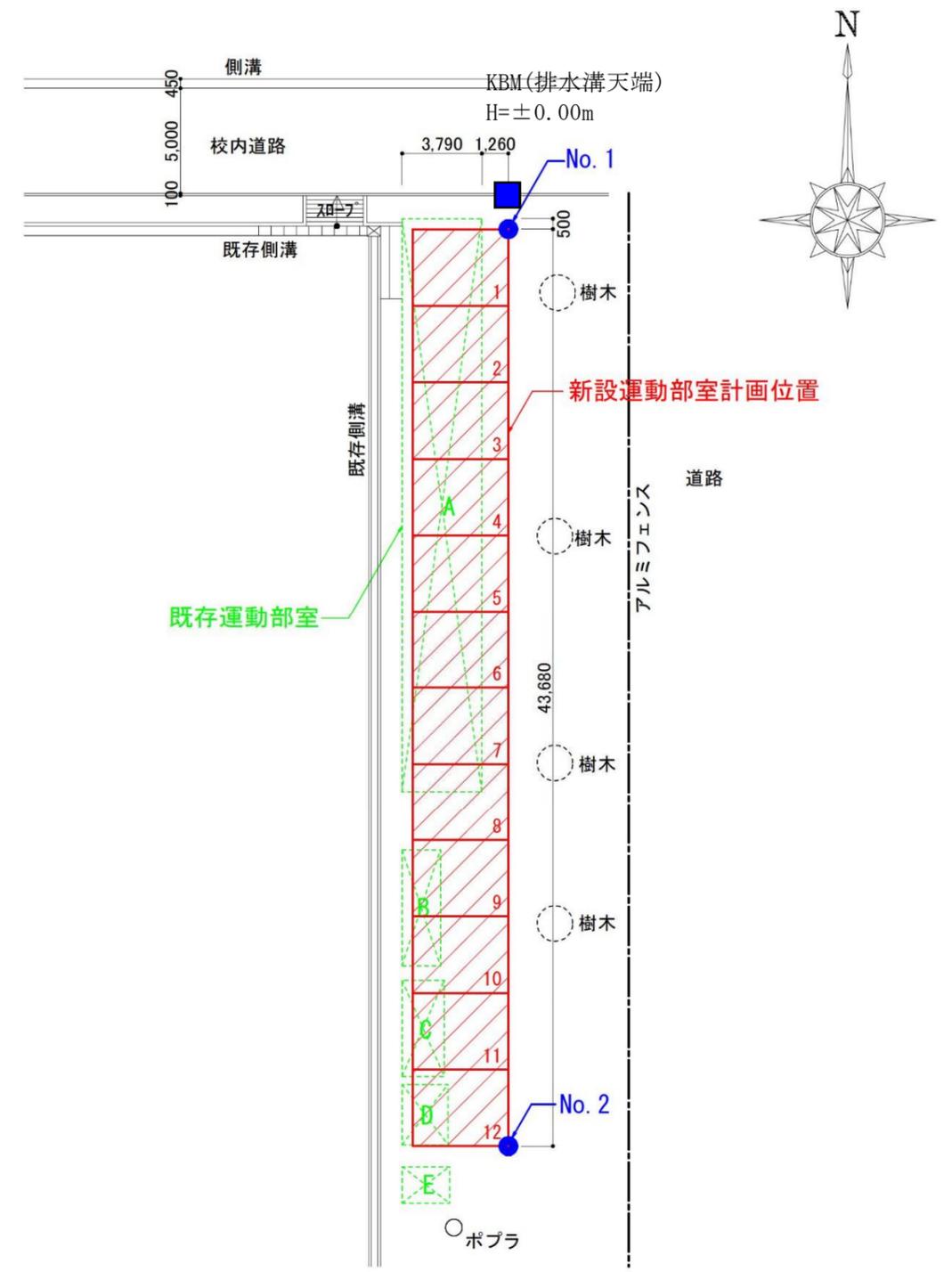


案内図(S=1:25,000) (国土地理院発行1/2.5万地形図「宇都宮東部」より一部抜粋)



配置図 (A3:1/2,000)

ここに、図示の計画建物は決定位置ではない



● 地質調査位置を示す。

調査位置拡大図 (A3:1/300)

● : ボーリング位置      ■ : KBM

# ボーリング柱状図

調査名 設計委託 宇都宮白楊高校運動部室新築ほか工事 地質調査

ボーリングNo 1

事業・工事名

シートNo 4403901

ボーリング名	No. 1		調査位置	栃木県宇都宮市元今泉8-2-1		北緯	36° 33' 48.7"	
発注機関			調査期間	2019年6月18日～2019年6月19日		東経	139° 54' 42.7"	
調査業者名	電話		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	9.89m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種
総掘進長	6.13m	度		向		試錐機	KR-100PB2	ハンマー落下用具
						エンジン	TF90V-E	ポンプ
								半自動型
								V6-D

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進月日)		
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)					深 (m)	採取番号
9.09	0.80	0.80			盛土(黒茶)	黒茶	軟らかい		含水中位、粘性中位 植物根多く含む 下部ローム混入する 0.7m付近、礫多く混じる	6/18 4.10	1.15	1	1	1	3	30	3				
7.79	1.30	2.10			ローム	茶褐	軟らかい		含水中位、粘性中位 スコリアが点在して混じる 下部、軽石粒子混じる		2.15	2	1	1	4	30	4				
6.74	1.05	3.15			鹿沼軽石	茶褐	軟らかい		多孔質構造、鹿沼軽石 φ2~5mm程度の粒径主体 含水多い		2.45										
5.99	0.75	3.90			ローム	茶褐	非常に軟らかい		スコリア少量混じる 軽石粒子、散在して混入する 下部に従い砂分多く混じる		3.15	1			1	45	1				
3.76	2.23	6.13			砂礫	暗褐 灰褐	非常に密な		φ2~40mmの円・亜円礫主体 礫間は粒径不均な砂と少量の粘土で 充填 φ125~250mm程度の玉石が1個~2個 /m程度の頻度で混じる (玉石径は、掘削コア長L=50~100m m×2.5倍で推定)		3.60 4.15	7	35	8	50	21	71				
											4.36	26	24	9	50	19	79				
											5.15										
											5.34	40	10	3	50	13	115				
											6.00										
											6.13										

## <凡例>

### 柱状図および土質区分

#### 第1分類

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土 (GP)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SP)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土(腐植土) (Pt)	

#### 第2分類

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-B)	
	砂利、礫混じり (-G)	
	砂混じり (-S)	
	シルト混じり (-M)	
	粘土混じり (-C)	
	有機質土混じり (-O)	
	火山灰混じり (-V)	
	貝殻混じり (-Sh)	

#### 第3分類

区分	分類名	図模様
岩石材料	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
特殊土材料	玉石 (B)	
	浮石(軽石) (Pa)	
	シラス (Sl)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
	ローム (Lm)	
	黒ボク (Kb)	
マサ (WG)		
表土 (Sa)		
埋土 (Fl)		
廃棄物 (F)		

### 試料採取方法

- ⊙ シンウォールサンプラーによる
- ⊖ デニソンサンプラーによる
- 貫入試験器による
- ⊖ フォイルサンプラーによる
- ⊖ ( ) による

### 備考

# ボーリング柱状図

調査名 設計委託 宇都宮白楊高校運動部室新築ほか工事 地質調査

ボーリングNo. 2

事業・工事名

シートNo 4403902

ボーリング名	No. 2		調査位置	栃木県宇都宮市元今泉8-2-1			北緯	36° 33' 47.8"				
発注機関				調査期間	2019年6月17日～2019年6月18日		東経	139° 54' 42.7"				
調査業者名	電話	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者						
孔口標高	9.74m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 KR-100PB2	ハンマー落下用具	半自動型	
総掘進長	6.31m	度		向				エンジン	TF90V-E	ポンプ	V6-D	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進月日)	
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	N 値							深 (m)
1	9.24	0.50	0.50		盛土(黒)	黒褐	軟らかい		黒ボク主体、礫・ローム小混じる 含水中位、粘性中位 植物根多く含む 下部ローム混入する	6/17 4.20	1.15	1/11	1/9	2	4/30	4				
2	7.24	2.00	2.50		ローム	茶褐	軟らかい		含水中位、粘性中位 スコリアが点在して混じる		2.15	1	2	1	4/30	4				
3	6.44	0.80	3.30		鹿沼軽石	茶褐	非常に軟らかい		多孔質構造、鹿沼軽石 φ2~5mm程度の粒径主体 含水多い		2.45									
4	5.74	0.70	4.00		ローム	茶褐	中位		含水中位、粘性やや有り スコリア少量混じる 軽石粒子、散在して混入する 下部に硬い砂分多く混じる		3.15	1/18	1/15	2/33						
5					砂礫	暗褐 灰褐	非常に密な		φ2~40mmの円・亜円礫主体 礫間は粒径不均な砂と少量の粘土で 充填 φ125~250mm程度の玉石が1個~2個 /m程度の頻度で混じる (玉石径は、掘削コア長L=50~100m m×2.5倍で推定)		3.48	11	17	22/9	50/29	52				
6	3.43	2.31	6.31								4.15									
7											4.44									
8											5.15	20	20	10/6	50/26	58				
9											5.41	32	18/6	50/16	94					

## <凡例> 柱状図および土質区分

第1分類

区分	分類名	図模様
土質材料	礫 (G)	
	礫質土 (GP)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SF)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
	高有機質土(腐植土) (Pt)	

第2分類

区分	分類名	図模様
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混じり (-B)	
	砂利、礫混じり (-G)	
	砂混じり (-S)	
	シルト混じり (-M)	
	粘土混じり (-C)	
	有機質土混じり (-O)	
	火山灰混じり (-V)	

第3分類

区分	分類名	図模様
岩石材料	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
特殊土材料	玉石 (B)	
	浮石(軽石) (Pa)	
	シラス (Si)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
	ローム (Lm)	
表層	黒ボク (Kb)	
	マサ (MG)	
	表土 (Sa)	
埋土 (Fi)		
腐葉物 (W)		

## 試料採取方法

- Ⓧ シンウォールサンプラーによる
- Ⓧ デニソンサンプラーによる
- Ⓧ 貫入試験器による
- Ⓧ フォイルサンプラーによる
- Ⓧ ( ) による

## 備考